

『前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾』

1

トップ経営者の為のくチーム・マネジメント>養成コース

この案内は、〔問題解決と人材育成の同時達成〕をめざす、「前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾」の詳しい募集案内です。「実践塾」は、『組織活性化』のための《チーム・マネジメント養成コース》です。その中で「組織活性化の哲学」を学び、現実の「問題」を持ち寄って来て頂き、それを解決していく上で必要な「具体的な方法論」を指導し、組織を活性化させるためのくチーム・マネジメント>を実践的に指導して参ります。それを学ぶ上で最も大切なポイントである「事実から学び、本質をつかみ」、「現実問題の法則性と方途を〔座学ではなく〕体験的経験的に取り組み、現場を数量化し、仕事を科学し」、「問題発見と問題解決」の「成果」と「生き甲斐の同時達成」を目指します。

「実践塾」は、1992年に長野軽井沢で発足し、信州安曇野、群馬谷川、高知土佐山田、岐阜安八、愛媛今治、群馬伊香保、愛知犬山、愛媛東予、群馬新前橋と、全国各地で開催して参りました。

その実績と経験の上で、今回の「前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾」に参加下さる皆様方とともに、更なる実践塾の「哲学と方法論」を具体的に手に取れるように、深く掘り下げていく所存であります。

これまでの「実践塾」では、少数精鋭の参加者で、一人ひとりへのきめ細かい指導により、着実な成果を挙げて参りました。今回参加下さる皆様方と更なる実践の場を広げ、新たなる問題解決の哲学とその方法論の体得と、自己発見への絶好の場にしたいと考えております。

「実践塾」は、そういった意味において、厳しい研修の場であり、冷静なる研究の場であり、また和気藹々の和やかな雰囲気と、厳しい研鑽の雰囲気が入り交じった場であります。

この実践塾に参加頂く半年は「発想法」によって自分が取り組むべき「本質的な課題」を究明し、「グラフ発想法」による徹底的な「定量的調査」によって、「問題発生の法則性」を見きわめつつ、問題解決への方向性を模索する連続であり、宿題に追われつつも充実した半年になるかと思えます。皆さま方の、自発的で、積極的な参加と、自律的で、自治的な研鑽を期待してやみません。

坂部チームワーク経営・坂部創造性教室・坂部実践塾・代表 坂部正登

(株)CRI 中央総研・代表取締役会長・三谷徹男

前橋〔第II期〕神沢の森・実践塾

《 開 催 主 旨 》

この実践塾は、「組織活性化のための<チーム・マネジメント>養成コース」です。組織を活性化させるマネジメントを養いつつ、当面する課題を解決します。事実から学び本質をつかみ、定量データから法則性を把握する方途を体得し、現場を数量化し、仕事を科学し、成長と生きがいの同時達成を目指します。

【前橋（第II期）神沢の森・実践塾・日程】

（第1回）	2018年 2月 15日（木）	～	16日（金）	=（1泊2日）
（第2回）	2018年 3月 15日（木）	～	16日（金）	=（1泊2日）
（第3回）	2018年 4月 12日（木）	～	13日（金）	=（1泊2日）
（第4回）	2018年 5月 17日（木）	～	18日（金）	=（1泊2日）
（第5回）	2018年 6月 21日（木）	～	22日（金）	=（1泊2日）

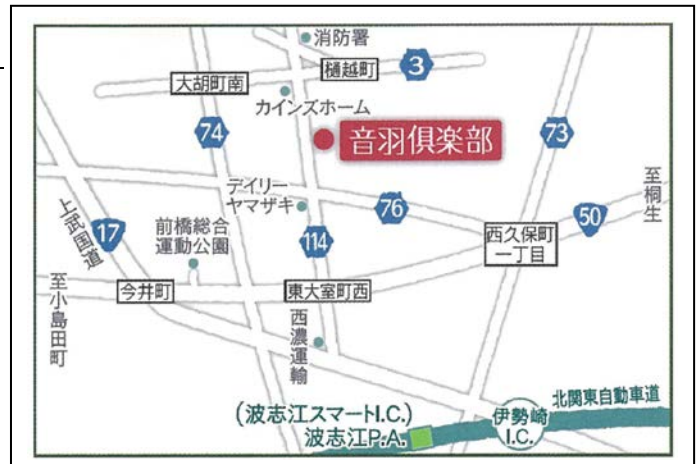
1) 開催時間：毎回の初日の朝9時から開講します。
〔時間前に<プラスランド音羽倶楽部>に集合の事〕

2) 研修会場：「プラスランド：音羽倶楽部」
群馬県前橋市神沢の森1番地
TEL027-280-1212
FAX027-280-1200

3) 服 装：身動きしやすい気軽な服装
(男性は最初からノーネクタイでどうぞ)

4) 持参品：「プロッキー12色入り」(1,800円の大箱に限る)・30cm定規・大型の電卓・筆記用具・洗面用具・着替え等。

この研修は長時間に及びますので、お好みのおやつ・果物・飲料等の持ち込みは自由とします。また夜には交流会を行いません。(飲料やおつまみは各自自己負担で)



5) 宿 題：①参加に当たって、自分が現在仕事上で抱えている「問題」の中で、この実践塾で取り組むべき「具体的な課題」を決めて、参加する前に坂部正登までメールでお知らせ(または相談)下さい。

②「Zグラフ」作成の為に「仕事上で自分の責任のあるテーマ」についての「過去4年間の月別の数量データ」を持参下さい。(初回の初日に「Zグラフ」作成訓練の予定)

③「仕事上で充実感・達成感の持てた場面」を、過去の自分の体験に基づいて、可能な限り具体的に10項目ほど「ありのままの事実」で書いてきて下さい。これを「データ」にして他社の参加者と一緒にチームを組み「チーム発想法」でまとめます。(初回の予定)

〔重要な注意点〕「具体的」とか「ありのまま」とは、①「いつ、どこで、誰が、何を、どのようにしたのか」を、見た通りに、自分の解釈を加えずに書くことです。②話し言葉で書くこと、③過去形で書くこと、④昔話でもするように方言も入れて書くと、より事実が見えるようになり、他の人にも伝わりやすくなります。

6) 発表・講評：各自の研修内容を毎回全員の前で発表し全員が忌憚のない異見とコメントを交わし合います。

(2018年) **〔CRI 中央総研〕**〔共催〕 **〔坂部実践塾〕** (平成30年)

前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾

(研修会場 & 宿泊：前橋市神沢の森〔プラス・ランド=音羽倶楽部〕・駐車場多数あり)

(この「実践塾」期間中の5ヶ月間の全日程に出席できる人に参加頂きます)

〔会場の最終確保調整の為 2018年1月31日までにお申込み下さい〕

(少数精鋭での指導を旨としますので申込み8~10名で締切ります)

〔今回の定員枠に入れなかった方は、「実践塾・第Ⅲ期」以降に回って頂きます。〕

第1回：2/15 (木) ~16 (金) = (1泊2日)(9時開始~翌17時終了)

- ※ 社内に保存されている「結果のデータ」「売上金額」の過去4年間の「月額データ」で「Zグラフ」を作ります。
- ※ 今回参加の他社の仲間の皆さんと共に「チーム発想法」によって「実践塾」の仲間づくりの準備とします。
- ※ また、次月への宿題「個人発想法」の「事実データあつめ」の具体的方法の指導および説明を行ないます。
- ※ 「事実」とは「見た物を見た通りに」①「いっどこで誰が何をどのように」を、②話し言葉、過去形で、書く事。

第2回：3/15 (木) ~16 (金) = (1泊2日)(9時開始~翌17時終了)

- ※ 「個人発想法」の実習を通して「事実から学ぶ」ことの大切な意味合いを理解出来るよう指導します。
- ※ そして今後の実践塾の期間中に自分が取り組む「課題と解決方針」を見出し堅持する事の重要性を指導。
- ※ 次月に向けて「課題」の達成を妨げている問題を「調査項目」に設定する意味とその設定方法の指導。
- ※ 「課題」と「調査項目」を設定する上で、最も大事なことは「人離れせよ」「物離れするな」ということです。
- ※ 次月の「宿題グラフ」は社内に保存されている「結果のデータ」を「グラフ化」して数枚持参する事。

第3回：4/12 (木) ~13 (金) =(1泊2日)(9時開始~翌17時終了)

- ※ 宿題の「結果のデータ・グラフ」の発表と全員のコメント。それを受けて「宿題グラフの修正」と発表。
- ※ 次回の「宿題グラフの調査項目の設定」と、職場の現状を調べて「数量データ」を収集する方法の指導。
- ※ 次回の「現状調査データ」は「過去のデータ」ではなく職場の現状を調べて集めた「数量データ」が必要。
- ※ その「現状調査データ」による「グラフ化」を数枚持参するよう、作成方法の具体的な指導および説明。

第4回：5/17 (木) ~18 (金) =(1泊2日)(9時開始~翌17時終了)

- ※ 「現状調査データ・グラフ」の発表と全員のコメント。コメントを受けて「現状調査グラフの修正と発表」。
- ※ 次回の宿題の「現状詳細化調査」の「調査項目」を設定。「現状詳細化調査」の「調査段階の数量データ」は、
- ※ 自分たちの目と手でなければ調べられない「数量データのレベル」となり、その収集方法の重要性の説明。

第5回：6/21 (木) ~22 (金) =(1泊2日)(9時開始~翌17時終了)

- ※ 「現状詳細化調査データ・グラフ」の発表と各自からのコメント。「現状詳細化調査グラフ」の「修正と発表」。
- ※ 「現状詳細化調査グラフ」を2~3枚集めて対比するとその中から「法則性」が浮き上がってくるであろう。
- ※ 「実践塾終了」以降への「課題」に対する「継続グラフ」の「現状詳細化データ」の「収集と作成」の具体的指導。
- ※ 最終日は関係者を招いて「各自が今までに作成した全作品の発表会」(発想法とグラフの全作品持参の事)。

前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾生・参加申込書

《CRI 中央総研》と《坂部創造性教室》の共催

〔会場の最終確保調整の為 2018 年 1 月 3 1 日頃までにお申込み下さい〕

- 「前橋（第Ⅱ期）神沢の森・実践塾」の参加申込みは、下記のいずれかの方法でお願いします。
① FAX での申込みは、下記の「参加申込用紙」に記入の上、「CRI 中央総研」宛に送信下さい。
FAX 027-253-0662
② メールでの申込みは CRI 中央総研・三谷徹男のアドレス [souken@gcri.co.jp] までどうぞ。

- 参加費（受講料及び宿泊費食費等の経費）486,000 円 ※税込 全5泊10日
「参加費」は下記口座に振込み下さい。（※後日ご請求書を発送させていただきます。）
 - 東和銀行 本店営業部 普通190550
 - 群馬銀行 本店営業部 普通2351614
カシ-アルアイユウウケン
 - 口座名義： 株式会社CRI 中央総研
※振込手数料は、ご負担下さいますようお願い致します。

『 前橋〔第Ⅱ期〕神沢の森・実践塾 』 FAX<027-253-0662>

参加申込年月日	年 月 日
(フリガナ) 参加申込者名	
生年月日・性別	年 月 日生 (ホテル希望=いずれかに○印を) (禁煙ルーム) or (喫煙ルーム)
所属・役職名	性別
実践塾で取組む課題	
所属所在地	〒
所属電話番号	TEL
派遣責任者・氏名	
同上の所属役職名	
参加者の自宅住所	〒
自宅電話番号	TEL
携帯電話番号	
e-mail-address	

◆◆◆お問い合わせは、主としてメールで（メールアドレスのない方は FAX で）お願いします ◆◆◆

e-mail [souken@gcri.co.jp]

TEL <027-254-3220> FAX<027-253-0662>

坂部チームワーク経営・創造性教室・実践塾・アカデミア・健康大学
代表 坂部正登 [m.sakabe@sozosei.com]
〒484-0081 愛知県犬山市犬山北列祖 57 坂部実践塾・事務局
創造性教室のホームページ <http://www.sozosei.com>

株式会社 CRI 中央総研
代表取締役会長 三谷 徹男 [souken@gcri.co.jp]
〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町 17 番地 36
ホームページ <http://www.gcri.co.jp>